



Atsushi Mekaru

銘苺 淳の

# HAPPY HANDBALL

vol.11

## PROFILE

1985年4月3日生まれ、26才。沖縄県浦添市出身。港川中で野球から転向してハンドボールをスタート。那覇西高一筑波大を経てトヨタ車体に進み、時代を変えるセンターとしての期待を集めて躍動中。ひたむきな取り組み、明るく快活な性格で、ワールドクラスのコミュニケーション能力を誇る『ハンドボール界の松岡修造』。連日更新しているブログ「おにあくま」(<http://meka-atsu.jugem.jp/>)も好評だ。

おごらず、にくまず、あせらず、くさらず、まけるな!!

## 『チャンスはいつ訪れるのか?』

涼しくなり、もうすっかり秋の気配ですね。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋といろいろと表現されますが、我々は春夏秋冬、コツコツと地面に足をつけてハンドボールに取り組むことに変わりはないですね。しかし、この秋は4年に一度のオリンピック予選があります。この号が発売されるころには女子のアジア予選は終了していますし、男子は予選真っ最中ということになります。4年に一度のチャンス。代表選手にかかる期待は大きいですね。というわけで今回はチャンスについて考えてみたいと思います。

### ターゲットを定める

ハンドボールにおいて我々は「チームJAPAN」とか「チーム」と表現しますよね。じゃあ、その「チーム」ってなんですか? チームってグループや班とは違いますよね。

班……作業効率上がるように不特定に編成された2人以上の小集団。この班が大きくなれば組という言い方ができますね。学校で言えば席が近い者同士で班になったりしますね。

グループ……ある目的のために共通の性質を持った人間が集まり編成された小集団。目的のためにグループそれぞれの



4年に一度のチャンスに挑む「チームJAPAN」をみんなで応援しよう!

役割があり責任があります。同時にグループ内での個人の役割、責任も出てきます。係り活動や委員会活動がそれにあたりますね。

チーム……グループと同じようにメンバー共通の目的があり、それぞれに役割や責任がありますが、期限があります。各カテゴリーの「引退」と呼ばれるのがそうです。

というようなことを以前研修で学びました。「チーム」には目標とするターゲットが確実に存在するんですね。

### 「チャンス君」は無言

私たちは最大のターゲットにおいて、よりよいパフォーマンスをするためにチームとして毎日ハンドボールしていることとなります。では目的達成のチャンスってどこにあっていつ訪れるのでしょうか?

そのきっかけを運んでくれるのをハンドボールフェアリー「チャンス君」だとします。チャンス君がいつどこに現れるかだれもわかりません。よく試合後に「あのシュートが入っていたら…」なんて聞きますが、試合している時はチャンス君が「今がチャンスですよ～」なんて教えてくれません。チャンス君は無言で通り過ぎていくんです。無言で通り過ぎてようとしているチャンス君を「おい、お前待て!!」とつかまえることができるかが問題です。しかもチャンス君は見える人にしか見えません。

ではチャンス君が見える選手とはどんな人でしょうか。それはいい準備をしている選手です。準備をしていない選手は、

もしチャンス君がこちらを向いて大声出して手を振っていても、チャンス君だと認識できません。スタメンにアクシデントが起きてリザーブの選手が試合に出るけどうまくいかない…というのは、試合に出るための準備が整ってないということになります。逆に遜色ない活躍をする選手はしっかりと準備をしていたこととなります。

だから私たちはどんな状況でもチャンス君が見えるように、つかまえることができるように個人の運動能力の向上はもちろん、個人技術、個人戦術を毎日一生懸命に練習するんですね。

また重要なことは、このチャンス君をチームで認識し、チーム全員が見えるようになることです。言い換えれば、グループ戦術、チーム戦術といえるかもしれません。チャンス君を1人が見つけても隣りの人間が見えていないとチャンス君をつかまえることはできません。「この場でこうしたらチャンス君はここに現れることが多い」とチームで認識していれば、チャンス君をつかまえる確率が一気にアップしますね!!

### チャンスは貯金できない

このチャンス君ですが、気まぐれなんです。その時、その瞬間にしか現れず、すぐに帰っちゃうので、その瞬間を逃すとまたいつ来るかわかりません。「今は忙しいからあとでまた来て」というのは通用しないのです。だからチャンス君が来た時のために日ごろの練習で準備をするんですね。それこそ1万回ダメでも1万1回目はチャンス君が現れるかもしれません。いや、じつは私たちに現れていないだけでチャンス君はずっと見ていてくれるかも。そう思うと日ごろの練習で手は抜けませんし、毎回毎回勝負です! そこまで自分を追求して取り組める選手、チームにチャンス君が見えてつかまえられるかもしれません。

### チームJAPANとして

日本代表選手は厳しいトレーニングを積んで予選に臨みます。今回はまた4年に一度しか現れないチャンス君です。チームには1人ひとり役割と責任があります。コートの中で戦う選手、それをまとめるスタッフ、それを応援する我々ハンドボール仲間が「チーム」となってそれぞれの役割をもって戦えば、きっとチャンス君はほほえんでくれることと思います。もうすぐインカレを迎える大学生、オリンピック予選を戦う代表選手には二度と来ないその瞬間を楽しみながらハンドボールしてほしいですね。そしてらきっと…☆。顔晴れ、学生!! 顔晴れ、JAPAN!!!